

# お知らせ

## 1. 沿岸域環境科学の最前線—基礎研究から保全・再生・防災まで—(第10回熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター講演会)を開催します。

日時：平成24年3月22日(木) 13:00-17:00

会場：熊本大学工学部百周年記念館

熊本市黒髪2-39-1(熊本大学黒髪南地区)

入場無料 定員160名

■開会/13:00-13:10

挨拶：滝川清(沿岸域環境科学教育研究センター長)

■講演/13:10-17:00(講演:25分, 質疑:5分)

13:10-13:40「有明海におけるナメクジウオの

個体群動態」

逸見泰久(生物資源循環系解析学分野 教授)

13:40-14:10「八代海湾奥部における

小型底生生物群集の動態」

嶋永元裕(生物資源循環系解析学分野 准教授)

14:10-14:40「海藻付着細菌による環境モニタリング」

滝尾 進(生物資源保全・開発学分野 教授)

14:40-15:00 休憩(20分)

15:00-15:30「環境と防災の調和した

八代海再生の研究プロジェクト」

滝川 清(水・地圏環境科学分野 教授)

15:30-16:00「平成23年度震災復興・日本再生支援

事業(熊本大学・国立大学協会共催)の成果」

秋元和實(水・地圏環境科学分野 准教授)

16:00-16:30「泥質干潟の保全と再生

—シギの餌の観点から」

桑江朝比呂(沿岸域社会計画学分野 客員教授)

16:30-17:00「有明海における懸濁物の

輸送現象について」

中川康之(沿岸域社会計画学分野 客員准教授)

■閉会/17:00

■司会進行/秋元和實

■共催/熊本大学拠点形成研究B:「閉鎖性沿岸海域における環境と防災, 豊かな社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成」研究グループ

■お問い合わせ:

熊本大学 教育研究推進部

自然科学系事務ユニット 研究センター支援担当

TEL: 096-342-3143(直通)

## 2. 平成24(2012)年度・公開実習予定

(合津マリンステーション)

(1)「ヤドカリの殻交換実習」(合津マリンステーション)・「干潟観察会」(上天草市永浦干潟)・「海蛸観察会」(上天草市樋合海岸)を上天草市と共催で, 7~8月に実施します(日時は未定)。

「ヤドカリの殻交換実習」は, ヤドカリの貝殻の奪い合いを簡単な実験で調べます。「干潟観察会」は, ハクセンシオマネキなどのカニ類の行動を観察します。「海蛸観察会」は, 夜の海岸で神秘的に光る海蛸を採集します。詳細は, 合津マリンステーション(0969-56-0277)または天草ビジターセンター(0969-56-3665)にお問い合わせ下さい。

(2)「公開臨海実習: 行動生態学実習」(大学間単位互換実習) 8月17日(金)~23日(木)(6泊7日, 合津マリンステーションに宿泊), 大学生対象。

ハクセンシオマネキとヤドカリ類の行動生態学の講義と実習(野外観察, 室内実験)を行います。単位認定については各大学の事務で確認して下さい。募集人員は12名。

なお, 合津マリンステーションまでの交通や実習の詳細は, HP(<http://www.geocities.jp/henmiy21/>)で確認できます。

## 3. 蘇る有明海—再生への道程— 楠田哲也(編)がもうすぐ出版されます。

滝川清教授を代表に, 沿岸域センター・自然科学研究科の多くの先生が携わって, 熊本大学・九州大学・佐賀大学が実施した「有明海生物生息環境の俯瞰型再生と実証試験」(科学技術振興調整費重要課題解決型研究等の推進:平成17-21年度)の研究成果がまとまり, 単行本として出版されました。多数の最新の成果が掲載されており, 有明海の現状を理解する上で重要な文献です。

出版: 恒星社厚生閣

サイズ: A5判・上製・376頁(予定)

定価: 3,360円(税込)

連絡先: 〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号

熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター

事務連絡先: 熊本大学教育研究推進部自然科学系事務U

TEL: 096(342)3143 FAX: 096(342)3010

HP: <http://engan.kumamoto-u.ac.jp/index.html>